

従来の「点」での計測から「面」での計測へ 施工と品質管理を一貫して自動化

情報化施工技術

施工設備

特殊施工技術

再生技術

環境技術

お客様のメリット

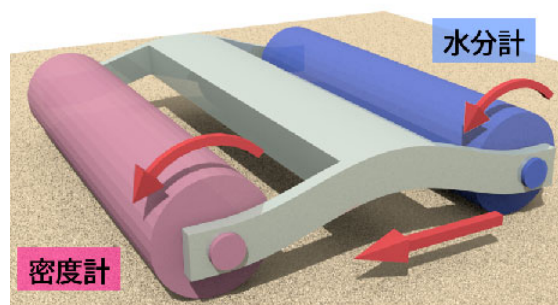
- 締固め度計測が非破壊・連続的かつ面的に行え、品質管理の能率化・高度化が可能です。
- 計測データをリアルタイムで帳票化して、クラウド上で関係者と共有できます。
- 自動化振動ローラに搭載して、締固め作業と締固め度管理の一貫した自動化が可能です。

技術の特徴

移動しながら非破壊・連続的に締固め度計測が可能な転輪型のRI計器を使用することで、従来は限られた測定点のみで実施していた品質管理を施工面全体にわたり実施できます。

計測結果をカラーマップ化することで施工面の密度分布がひと目でわかるので、不良箇所の確認や施工方法改善の検討に役立てることができます。また、計測結果はカラーマップとともに自動的に帳票化してクラウド上で関係者と共有することができます。

自動走行が可能な振動ローラT-iROBO ROLLERに搭載して、自動での締固め施工と締固め度計測が可能なシステムを構築することもできます。転圧不足箇所は自動で再転圧することが可能です。



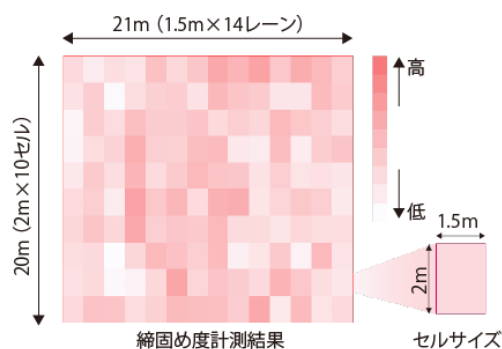
計器（CG）：転輪型の密度計と水分計で構成



計器内部：RI線源と検出器を搭載



T-iCompactionを搭載したT-iROBO ROLLER



T-iCompactionによる締固め度計測結果

実績・事例

T-iCompactionを自動化振動ローラT-iROBO ROLLERに搭載して自動走行により品質管理を行う実証を、東京支店の造成工事現場で2020年5月に実施しました。



▲プレスリリースはこちら